



バグダッドLO日々業務報告(12月10日1900)



区 分	内 容
1 警戒態勢等	(1) サマーワに直接影響を及ぼす脅威情報 (2) イラク全域に係る脅威レベル サマーワ及びバスラは [REDACTED]、バグダッド及びモスルは [REDACTED]、ラマディは [REDACTED]
2 特記事項	[REDACTED]
3 本日の業務	情報収集及び情報資料の送付等
4 明日の予定	情報収集及び連絡調整
5 その他(備考)	な し

バグダッド日誌(12月10日)

○ イラク軍との遭遇！

- ・ 基地内を車で走っていると、イラク軍の車列に遭遇した。米軍の装甲車10数両を道路脇に停車して、何かやっているようだった。これだけの数のイラク軍を見るのも珍しい。話を聞いて、出来れば写真も撮りたいと思ったが、勝手に撮ったら何かいわれると思いLO4名で恐る恐る近づいた。
- ・ 我々を見つけるなり、「ヤバーニ」といいながら10名近くのイラク兵が近づいてきた。チョット怖かった。一番心配したのは、「武器・弾薬を取られないか?」、「変なことされないか?」だった。さすがに私以外の3名も、武器を手でしっかり押さえていた。
- ・ 「サマーワから来たのか?」、「日本人だ!日本人だ!」、「日の丸を指さしながら」日本の国旗を知ってる」等々集まってきたイラク兵達が口々に言ってくる。(アラビア語なのでよく分からないが、多分こんなことを言っていたとう。)
- ・ 「一緒に写真を撮ろう!」誰かが言ったのか、私を中心にみんなが撮影の隊型に移動し始めた。
- ・ 距離が出来たので、よく見ると着ている服、鉄帽、アーマーが全員バラバラ、一人の兵士が私にこれをかぶれと鉄帽を差し出してくる。手に取ると「うそっばち」(プラスチック製?)だった。(こいつらこれで戦うのか?ここで何してるのか?)と思い、聞いてみるが、英語は全く通じない。何を言っても「ヤバーニ」、「ヤバーニ」を繰り返す。
- ・ 近くにいた彼らの訓練を指導している様子の米兵(軍曹)によると、「検問所での勤務要領を訓練した帰り」とのことだった。車列を整然と整列させている様子だけを見ると、もしかして米軍より練度が高い?と感じた。個々の兵隊は「お調子者」ばかりのようで、彼らを指導する米兵は、大変だろうと思う。新たなイラクの国造りには、彼らの信頼性・練度の向上が、不可欠なだけに、双方とも頑張ってくれと思う。
- ・ 彼らの言動に、我々日本人に対する親近感を強く感じた。恐らく初めて会う「日本人」に一生懸命話しかける彼らは、本当にうれしそうだった。最初は少しとまどいも感じたが、彼らと会えて、とても楽しい気分になった。([REDACTED])